令和３年度　大分教育事務所　所長通信

2021「山ちゃん通信」No,206

2021, 12, 21
文責：山香 昭

飛込授業第１８弾　津久見市立青江小学校４年生と学ぶ

いろんなことを想ぞうしたし、その人の気持ちになって考えることもできました。今日のじゅぎょうは、とても楽しく、うきうきした感じでじゅぎょうをうけられてとてもうれしかったです。ありがとうございました。

４年生は自治力が育成されており、全体のリーダーシップをとる子どもや自ら進んで行動する子どもが多く、一人をつくらないようなグループ分けや友達の考えを引き出す話し合いが自然に行われていました。そのため、周りに流されることなく、自分の考えをそれぞれ持つことができ、さらに、相手の考えを否定せずに受け入れながら自らの考えを深めていました。終末の「ふりかえり」では、自ら成長を実感する内容が多かったです。45 分でも大きく成長した４年生！これからの成長が楽しみですね。

NO,666　2021年12月　津久見市立青江小学校

自己決定

自分で考えて決めたことだから流されない。人のせいにもしない。

「１本のチューリップ」

校庭にたくさんのチューリップが咲いています。花子さんは黙って1本だけ抜いて帰りました。理由は、入院しているおばあちゃんのお見舞いのためでした。

X	理由 たくさんさいている中のをとったら自分の思いがつまってないとおもったから。 〈自分だったら〉 まねをするから　自分でかったほうがいい
○	(自)いっぱいあるし、おばあちゃんのおみまいのためだからすごくいい事だと思う。 (他)おばあちゃんの事をおもってやった事なら別にいいんじゃないかなと思いました。

もっといい方法は？

先生とかにまずきいていいっていったら1本だけとっていいと思う。
先生がだめだといったら買ってあげるか、チューリップのことについて手紙をかいたり絵をかいたり歌をうたったりだめだったらいろんなほうほうがあるからできるならいろんな方法をしたほうがいいと思う。

このように、子ども達はいろいろな方法を考えました。おばあちゃんの立場で考えたり、「この方法がダメだったら次はこうする」と順序を決めてできるまでやる、という考えには心を打たれました。

その場にあるチューリップにおばあちゃんがよくなりますように。とみんなでいった。

できるまで考えることが大切だなぁと思いました。だからもしこんなことがあったら、みんながなっとくするまで考えればいいなぁと思いました。

NO,667　2021年12月　津久見市立青江小学校

輪が広がる

最初は仲の良い人と、次第に誰とでも話し合う。気が付くと、友達も考えも広がる。

NO,664　2021年12月　津久見市立青江小学校

同じ考えでも

結論は同じでも、それぞれの理由は異なる。対話をとおして考えが深くなる。

ふりかえり

話した後、「おお！」とか「いいね」とか、拍手などで反応したりするのがよかった。

山香昭先生と道徳のじゅぎょうができてよかった。みんなの意見をしりがきけてよかったです。体のチューリップでいろいろな意見がでて友達の意見みたりしてたしかにそうなるなどと思ったりしました。○×でひとりひとりちがうと思うけどみんなでできてよかったです。
ありがとうございました。

をいかして、いきたいです。わたしも、このまえまでは、私も、同じようにしてたかも、しれないけどこの話を聞けたのでよかったです。
ありがとうございました。

みんなのいろいろな意見感想があったし、このべんきょうをきっかけにやめるまで何度も何度もくりかえしてやればいいと思った。

NO,665　2021年12月　津久見市立青江小学校

書く目的

それぞれ自分の考えを書いているから交流が深まる。一人一人の考えも大切にされる。